2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社アートネイチャー　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7823　　URL　https://www.artnature.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役会長兼社長　　（氏名）　五十嵐 祥剛
問合せ先責任者　（役職名）　上席執行役員財務経理部長　（氏名）　井上 裕章　　(TEL) 03-3379-3334
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家、アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	21,183	△1.4	868	△37.2	880	△39.9	504	△40.6
2026年３月期中間期	21,485	1.7	1,382	20.5	1,464	33.7	848	36.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　425百万円（△41.8%）　2026年３月期中間期　730百万円（　20.1%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	15.43	15.20
2026年３月期中間期	26.06	25.64

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	50,809	28,347	55.2	855.23
2026年３月期	52,392	28,332	53.4	858.17

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　28,025百万円　　2026年３月期　27,960百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	14.00	―	16.00	30.00
2027年３月期	―	14.00			
2027年３月期(予想)			―	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,494	8.7	2,500	△22.3	2,665	△22.8	1,214	△36.0	37.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	34,393,200株	2026年３月期	34,393,200株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,623,740株	2026年３月期	1,811,540株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	32,669,032株	2026年３月期中間期	32,561,194株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在まで入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当期の経営成績

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しや、インバウンド需要の拡大により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、不安定な為替相場や原材料価格の高止まりに加え、人手不足の深刻化に伴う労務コストの増大が企業経営の課題となるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、2036年３月期を最終年度とする長期ビジョン「ARTNATURE 2.0」の実現に向けた新たな中期経営計画「アートネイチャー Frontierプラン」を始動いたしました。その初年度である当連結会計年度を「仕込み期」と位置付け、事業基盤の強化や新領域への挑戦のための先行投資を積極的に実施してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高は21,183百万円(前年同期比1.4%減)と、前年同期比微減で推移しましたが、利益面では中期経営計画に基づく「人的資本の強化」に向けた諸施策の実施に伴う人件費等の増加、および「顧客基盤の増強」「生産基盤の強化」を目的とした先行投資により、売上原価、販売費および一般管理費が前年同期を上回る結果となり、営業利益は868百万円(同37.2%減)、経常利益は880百万円(同39.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は504百万円(同40.6%減)となりました。

セグメント別の売上高の状況は次のとおりです。

＜男性向け売上高＞

男性向け売上高については、新規売上は効果的な広告宣伝等の実施、リピート売上についても顧客定着策の推進等を実施し、新規・リピートともに前年同期比増加した結果、11,848百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

＜女性向け売上高＞

女性向け売上高については、新規売上は新商品の反響等に苦戦し前年同期比減少、リピート売上についても前期受注からの持ち越しが少なかったこと等により前年同期比減少した結果、6,151百万円(同5.7%減)となりました。

＜女性向け既製品売上高＞

女性向け既製品売上高については、既存店舗での新規販売が苦戦し、2,566百万円（同4.2%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,582百万円減少し、50,809百万円となりました。これは、現金及び預金、売掛金が減少したこと等により流動資産が1,790百万円減少した一方、投資有価証券が増加したこと等により固定資産が207百万円増加したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1,598百万円減少し、22,461百万円となりました。これは、未払金、未払法人税等が減少したこと等により流動負債が1,724百万円減少した一方、退職給付に係る負債が増加したこと等により固定負債が126百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比15百万円増加し、28,347百万円となりました。これは、自己株式が減少した一方、退職給付に係る調整累計額が減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は以下のとおりであり、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末比1,893百万円減少し、17,947百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前中間純利益867百万円に加え、減価償却費644百万円、売上債権の減少684百万円、前受金の増加316百万円があった一方、その他支出941百万円、法人税等の支払1,217百万円等により、283百万円の資金収入（前年同期は2,222百万円の資金収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

定期預金の預入による支出462百万円、有形固定資産の取得による支出269百万円、無形固定資産の取得による支出120百万円、投資有価証券の取得による支出708百万円等により、1,644百万円の資金支出（前年同期は1,591百万円の資金支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払額520百万円により、520百万円の資金支出（前年同期は455百万円の資金支出）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月15日に発表いたしました連結業績予想から変更ありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,883	18,447
売掛金	3,145	2,463
有価証券	32	288
商品及び製品	3,157	3,308
仕掛品	212	215
原材料及び貯蔵品	1,777	1,676
その他	1,209	1,228
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	29,413	27,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,556	6,373
その他（純額）	4,034	4,071
有形固定資産合計	10,591	10,444
無形固定資産		
その他	1,729	1,631
無形固定資産合計	1,729	1,631
投資その他の資産		
その他	11,239	11,742
貸倒引当金	△581	△631
投資その他の資産合計	10,658	11,110
固定資産合計	22,979	23,186
資産合計	52,392	50,809

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	337	420
未払金	2,050	1,412
未払法人税等	1,361	400
前受金	6,171	6,487
賞与引当金	1,224	1,104
役員賞与引当金	150	75
商品保証引当金	45	45
その他	3,679	3,349
流動負債合計	15,021	13,296
固定負債		
退職給付に係る負債	3,995	4,123
資産除去債務	3,226	3,223
その他	1,817	1,818
固定負債合計	9,038	9,164
負債合計	24,060	22,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,667	3,667
資本剰余金	3,636	3,689
利益剰余金	20,728	20,711
自己株式	△1,017	△911
株主資本合計	27,015	27,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101	117
為替換算調整勘定	234	207
退職給付に係る調整累計額	608	542
その他の包括利益累計額合計	945	868
新株予約権	360	313
非支配株主持分	10	8
純資産合計	28,332	28,347
負債純資産合計	52,392	50,809

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	21,485	21,183
売上原価	7,289	7,314
売上総利益	14,195	13,868
販売費及び一般管理費	12,813	13,000
営業利益	1,382	868
営業外収益		
受取利息	39	51
為替差益	38	0
その他	18	20
営業外収益合計	95	72
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	－	50
支払保証料	8	8
その他	5	2
営業外費用合計	13	60
経常利益	1,464	880
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	63	13
特別損失合計	63	13
税金等調整前中間純利益	1,401	867
法人税、住民税及び事業税	615	295
法人税等調整額	△63	70
法人税等合計	552	365
中間純利益	848	501
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	0	△2
親会社株主に帰属する中間純利益	848	504

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	848	501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	16
為替換算調整勘定	△110	△26
退職給付に係る調整額	△54	△65
その他の包括利益合計	△117	△76
中間包括利益	730	425
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	732	427
非支配株主に係る中間包括利益	△2	△1

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,401	867
減価償却費	613	644
減損損失	63	13
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1	49
賞与引当金の増減額（△は減少）	0	△120
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△67	△75
商品保証引当金の増減額（△は減少）	△3	△0
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	39	31
受取利息	△39	△51
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損益（△は益）	△0	△0
売上債権の増減額（△は増加）	473	684
棚卸資産の増減額（△は増加）	△64	△52
仕入債務の増減額（△は減少）	△25	81
前受金の増減額（△は減少）	16	316
その他	△61	△941
小計	2,345	1,447
利息の受取額	40	53
法人税等の支払額	△164	△1,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,222	283
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△462
定期預金の払戻による収入	26	－
有形固定資産の取得による支出	△1,254	△269
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△233	△120
投資有価証券の取得による支出	－	△708
長期貸付けによる支出	－	△50
長期貸付金の回収による収入	0	－
敷金及び保証金の差入による支出	△139	△28
敷金及び保証金の回収による収入	75	76
その他	△66	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,591	△1,644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△455	△520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	△520
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	△11
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	115	△1,893
現金及び現金同等物の期首残高	18,025	19,840
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,141	17,947

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	男性向け事業	女性向け事業	女性向け既製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,570	6,526	2,677	20,774	710	21,485	－	21,485
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	1,432	1,432	△1,432	－
計	11,570	6,526	2,677	20,774	2,142	22,917	△1,432	21,485
セグメント利益	7,285	4,181	2,165	13,633	673	14,306	△111	14,195

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造子会社等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△111百万円は、セグメント間取引に係る棚卸資産調整額等の消去であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

２．報告セグメントのセグメント利益合計額と中間連結損益計算書の営業利益との差異の調整

（単位：百万円）

	金額
報告セグメント計	13,633
その他(注)１	673
合計	14,306
調整額(注)２	△111
中間連結損益計算書の売上総利益	14,195
販売費及び一般管理費	12,813
中間連結損益計算書の営業利益	1,382

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当中間連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	男性向け事業	女性向け事業	女性向け既製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,848	6,151	2,566	20,565	617	21,183	－	21,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	1,455	1,455	△1,455	－
計	11,848	6,151	2,566	20,565	2,073	22,639	△1,455	21,183
セグメント利益	7,572	3,895	2,069	13,538	409	13,947	△78	13,868

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造子会社等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△78百万円は、セグメント間取引に係る棚卸資産調整額等の消去であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

２．報告セグメントのセグメント利益合計額と中間連結損益計算書の営業利益との差異の調整

（単位：百万円）

	金額
報告セグメント計	13,538
その他(注)１	409
合計	13,947
調整額(注)２	△78
中間連結損益計算書の売上総利益	13,868
販売費及び一般管理費	13,000
中間連結損益計算書の営業利益	868

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

(重要な後発事象)

(重要な子会社の売却)

当社は、2026年10月15日開催の取締役会において、連結子会社である ARTNATURE PHILIPPINES INC.（以下、ANフィリピン社）の株式の全部を、PEARLCOIN（HONG KONG）LIMITED に譲渡することを決議しました。

なお、本件株式譲渡により、ANフィリピン社は当社の連結子会社から除外されることとなります。

（１）株式譲渡の理由

当社は、自社工場比国一国集中生産によるリスクの分散化、今後の業務拡大に伴う生産能力の増強を主たる目的として、2024年1月に ARTNATURE BANGLADESH LTD. を設立し、2025年12月より工場を稼働開始しております。それにともない、生産体制の抜本的な見直しを行った結果、ANフィリピン社の事業を譲渡することにいたしました。

（２）譲渡する相手先の名称

PEARLCOIN (HONG KONG) LIMITED

（３）譲渡の時期

① 譲渡契約締結日：2026年11月30日（予定）

② 株式譲渡実行日：2026年12月１日（予定）

（４）当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

① 名　　称：ARTNATURE PHILIPPINES INC.

② 事業内容：ウィッグ（かつら）の製造

③ 当社との取引内容：当社製品の製造委託等

（５）譲渡する株式数、譲渡価額、譲渡後の持分比率、売却による影響額

① 譲渡株式数：900,000株（議決権の数：900,000個、議決権所有割合：100％）

② 譲渡価額：46百万フィリピンペソ（117百万円）

③ 譲渡後の所有株式数：－株（議決権の数：－個、議決権所有割合：－％）

④ 譲渡損益：四半期決算短信提出日現在において、同社株式譲渡日現在の財務数値が確定していないため、記載しておりません。